



すべての子どもは、生まれたときから健やかに育ち、幸せに生きる権利を持っています。しかし世界には、貧困や虐待、いじめなど、困難な状況に置かれている子どもがたくさんいます。このような子どもたちを守るために生まれたのが「子どもの権利」です。

市では、子どもを一人の人間として尊重し、権利を保障するため、平成24年に「子どもの権利に関する条例」を制定しました。子どもが安全に安心して生きる権利や、のびのびと豊かに育つ権利など五つの権利を保障しています。また、保護者や学校などの関係者、地域住民、市などの責務を掲げ、連携して支

子どもの権利とは

市は、今年3月に「第2次子どもの権利に関する推進計画」を策定しました。この計画を通して、一人一人が子どもの権利について考え、行動していきましょう。

■問い合わせ先 本庁4階元気戦略室（☎342223）

子どもの権利推進計画を策定

推進計画の概要

援するよう定めています。



←子どもの権利推進計画のホームページ

目標1 自分の良さを認めることのできる心を育みます

① 親子のふれあい推進（遊びや読書など親子でふれあう機会の創出、ほめる・認める子育ての推進）

目標4 子どもの権利に対する意識を高めます

① 子どもの権利に関する普及啓発及び学びの支援（広報やホームページ、各組織の活動を通じた普及啓発）

目標3 相手を思いやる気持ち育てます

① 子ども自身の子どもの権利に関する学びの支援（道徳教育や生徒指導などで子どもの権利に関する学びを支援）

目標2 子どもが参画できる機会を増やします

① 地域における子どもの活動の充実（地域行事や奉仕活動、体験活動に参加しやすい雰囲気づくり、子どもの活動機会や活動の場の拡大）

② 学校における子どもの自主的な活動の推進（学校での子どもの自主的な活動の推進、素質や能力などを発展させる機会の創出）

アンケート調査で、大人でも「子どもの権利条例」を知らない人が多かったので、知ってもらうために講話の開催を提案しました。学生目線と大人が考えていることは結構違うこともあって、いろいろ考えさせられる良い機会になりました。いじめが死につながる場合もあるので、人を思う気持ちを考え直し、世の中から不幸な死がなくなればいいなと思っています。

子どもの権利推進委員
松本 歩 さん
（前沢中学校3年生）



委員会では、子どもの自己肯定感を高めるために、どうしたらいいかなどを話し合いました。大人だけではなく、子どものリアルな考えや思いを話せる場はあまりないので、みんなで話し合いながら計画をつくっていくことはとても大切なことだと思います。虐待のニュースなども耳にするので、思いやりの心を持ち、家族で話し合うことが大切だと感じました。

子どもの権利推進委員
酒井 彩乃 さん
（前沢中学校3年生）



<今月の表紙>

第31回全日本農はだてのつどい

2月15日、胆沢野球場特設会場で、全日本農はだてのつどいが開かれました。雪不足の影響で一部の行事が中止されましたが、庭田植えなど昔ながらの行事で豊作を祈願しました。写真は厄年連によるつがい踊りの演舞。威勢の良い掛け声とあふれる笑顔で、祭りの後半を盛り上げました。【関連：4頁】

Public Relations Magazine Oshu City

2020.3 Vol.169

広報おうしゅう
令和2年3月号

CONTENTS

- | | | | |
|---|--|----|-----------------|
| 2 | キラリ輝く奥州人 | 10 | 街diary |
| 3 | 子どもの権利推進計画を策定 | 12 | いいとこ、知っとこ おうしゅう |
| 4 | 奥州冬まつり グラフ | 13 | まなびの里 |
| 5 | 奥州の市民劇 グラフ | 14 | もっと安心 ずっとおうしゅう |
| 6 | 2020 スポニチいわて奥州きらめきマラソン
東稲山麓地域の「世界農業遺産」「日本農業遺産」の
認定に向けて | 15 | はい、こちら総合相談室 |
| 7 | 市の組織と庁舎執務室の配置を一部変更します | 16 | 子そだて広場 |
| 8 | ILC希望のひかり | 20 | インフォメーション |
| 9 | 地域おこし協力タイムス
市長コラム「おうしゅう羅針盤」 | | 奥州遺産 |



小野寺 尚美 さん（46歳）
＝前沢生母＝

好きな運動が 会話でより楽しく

2本のポールを使って歩く運動「ノルディックウォーキング」。前沢いきいきスポーツランドの同教室でインストラクターをしているのが小野寺尚美さんだ。

もともと体を動かすことが好きだという尚美さん。普段は施設管理の事務をしながら、同所で週1回開かれる放課後子ども教室では、子どもたちと一緒に汗を流している。

ノルディックウォーキング教室は、週1回、約1時間半かけて6キロほどを歩く。コースは季節やその日の天候など

4月からは毎週（祝日を除く）に教室を開催。詳しくは、前沢いきいきスポーツランド（☎56-7290）まで

で決める。ポールを使うことで上半身が使われ、ただ歩くよりも運動量が増える。支えられるため腰や膝への負担は少ない。教室を重ねるうち「肩こりがひどくて」という声は聞こえなくなった。

「歩きながら皆さんと話をするのが楽しい」とほほ笑む尚美さん。参加者のほとんどが人生の先輩。「考え方など学ぶことが多い」と話す。

「教室はもとより自分や家族のためにも、体をケアする知識を深めていきたい」と力強く前に進んでいく。



おのでら・なおみ◎昭和48年、前沢生まれ。NP O法人前沢いきいきスポーツクラブ職員。日本ノルディックウォーキング協会上級インストラクター。両親と子ども2人の5人家族。